LAWSON

第44回定時株主総会

2019年5月21日

事業の概況

グループ企業理念

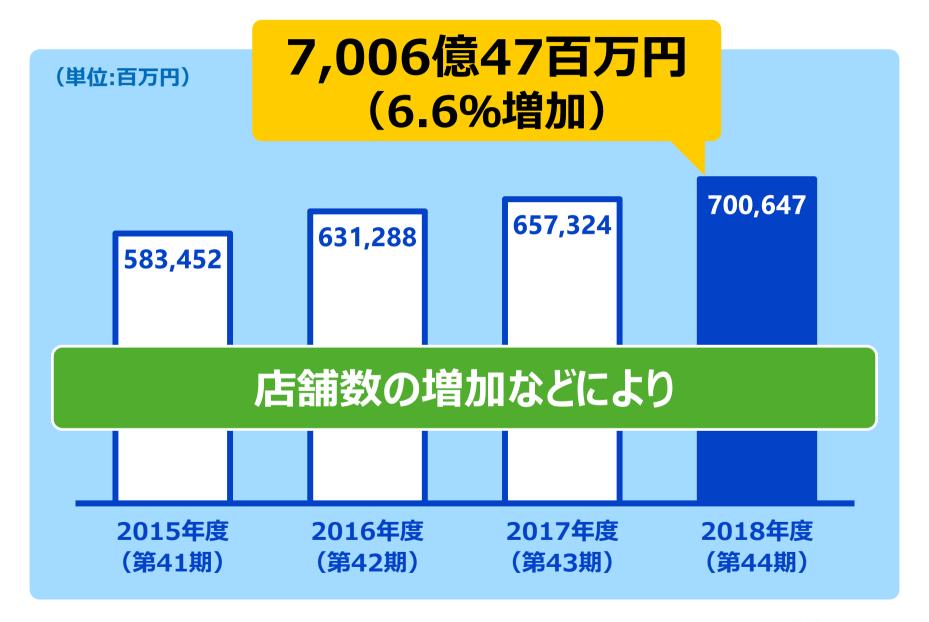
企業理念

私たちは"みんなと暮らすマチ"を 幸せにします。

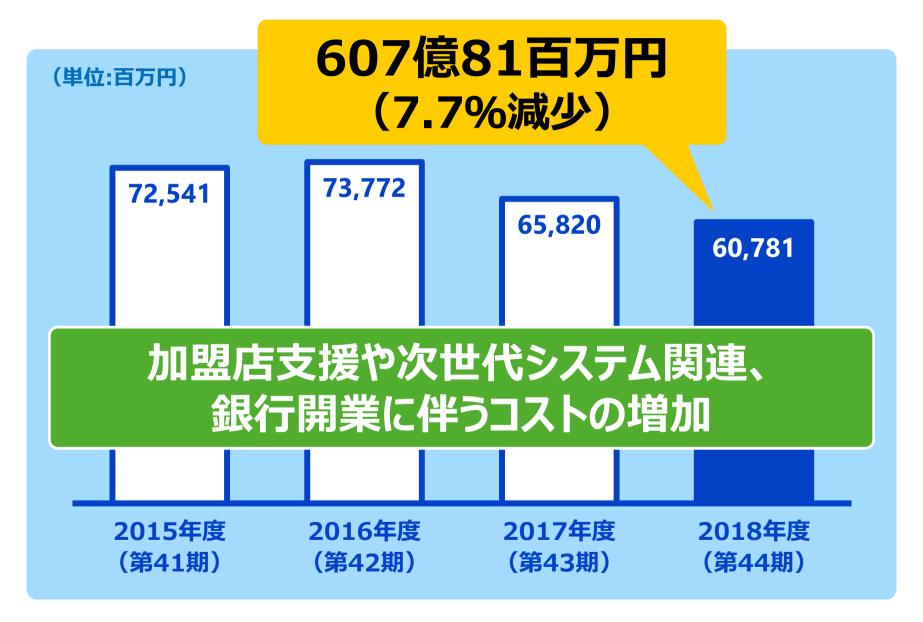




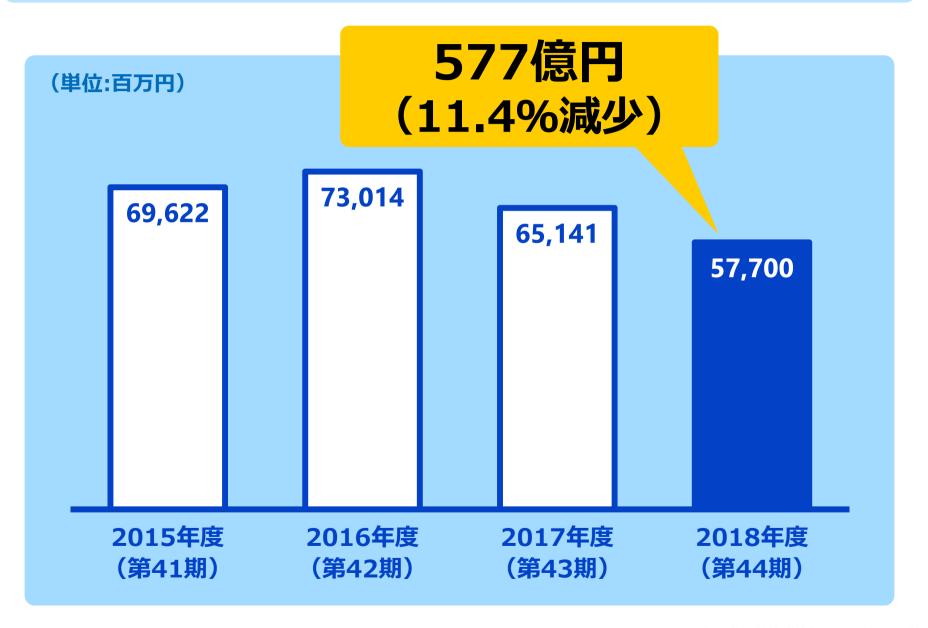
当期の業績(連結営業総収入)



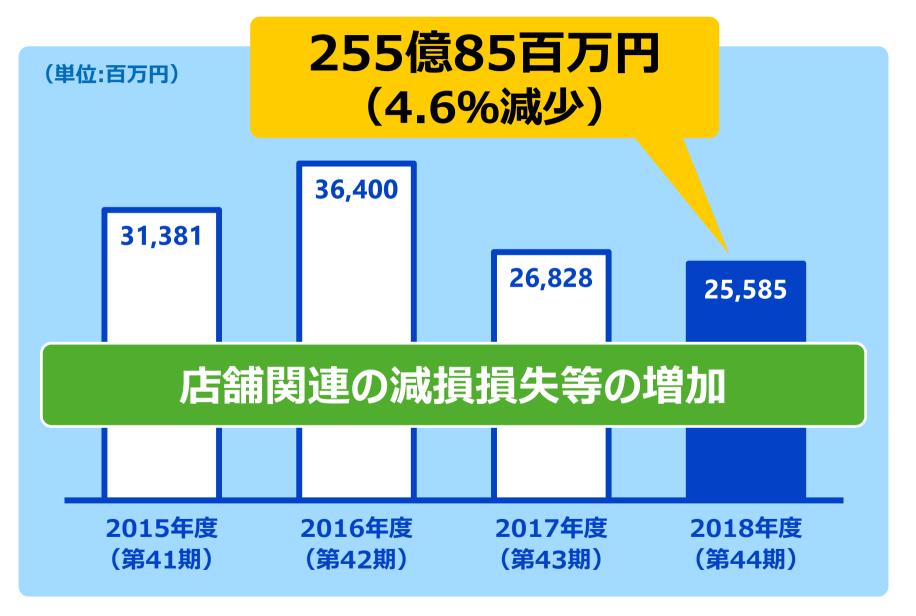
当期の業績(連結営業利益)



当期の業績(連結経常利益)



当期の業績(親会社株主に帰属する当期純利益)



各事業の取り組み

国内コンビニエンスストア事業



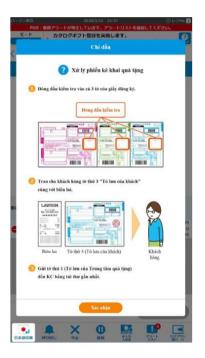


ピークに合わせた売場づくりに努める

国内コンビニエンスストア事業



新型POSレジ(自動釣銭機能付き)





多言語表示対応

全国の店舗へ導入

店舗運営の取り組み

「ローソンスマホレジ」



購入する商品の バーコードを 読み取る



ローソンアプリで 決済



決済後に表示される QRコードを 専用リーダーにかざす

セルフ決済サービスの実証実験を開始



悪魔のおにぎり

これが ハンバーグ弁当



ホット麺 とんこつラーメン

好評につき、売上は堅調に推移

カウンターファストフード



夕方から夜にかけての惣菜の品揃えを強化

カウンターファストフード



からあげクン レギュラー



からあげクン 博多明太マヨネーズ味



からあげクン ねぎ塩だれ味



からあげクン レッド

累計販売数が30億食を突破





ショコラパフェ



ショコラマカロン

女性のお客さまを中心に人気

販売促進の取り組み



夕方得割 2個 購入ごとに 20 間

対象のカウンターファストフードが 20円引きになる夕方得割

人気アーティストを起用した 「スピードくじ」

効果の高い集客施策を展開

店舗開発の取り組み

ROI(投資収益率)に基づいたローソングループ独自の出店基準

収益性を重視した店舗開発に努める

店舗開発の取り組み



ブランド転換を完了

店舗開発の取り組み

調剤薬局やドラッグストアチェーンと提携



ヘルスケア強化型店舗を継続して展開

高齢化や健康意識の高まりなどの社会変化に対応

ローソンストア100事業

LAWSON TO STORE

ローソンストア100



適量・小分けで 100円(税抜)の 商品を取り揃える

お客さまの幅広いニーズに対応

国内総店舗数







出店数

1,067店舗

閉店数

400店舗

国内総店舗数

14,659店舗

その他の取り組み



ローソン フレッシュ ピック



カートに入れる



受け取り店舗・来店日を決める



ローソンにて商品 受け取り

朝8時までに注文すれば、 最短当日の14時以降に指定のローソン店舗に商品が届く

約1,600店舗で展開

成城石井事業







ご注文ごとに盛り付けて、できたてを提供

「フードカート風スタンド」を導入した店舗をオープン

成城石井事業

直営店舗数

146店舗





売上は好調に推移

エンタテインメント関連事業

株式会社ローソンエンタテインメント





ローソンは、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンのオフィシャル・マーケティング・パートナーです。 Despicable Me, Minion Made and all related marks and characters are trademarks and copyrights of Universal Studios. Licensed by Universal Studios Licensing LLC. All Rights Reserved. © Walter Lantz Productions LLC

TM & © Universal Studios & Amblin Entertainment
TM & © Universal Studios. All rights reserved. CR19-1391

業界トップクラスの チケット取扱高を維持 HMV & BOOKS



「HMV & BOOKS」、「HMV」他 全国56店舗

お客さまニーズの対応とサービスの充実を図る

エンタテインメント関連事業



ユナイテッド・シネマ株式会社





全国41サイト、367スクリーンの 映画館を展開

金融関連事業



ローソン銀行

2018年10月から お客さま向けサービスを開始

割引クーポン券を 発行する キャンペーンを実施





認知度の向上に努める

金融関連事業

ローソン銀行クレジットカード

ローソン店舗などでの ご利用でPontaポイントが 最大4%貯まる



クレジットカード 「ローソンPontaプラス」を発行

海外事業

中華人民共和国 2,007店舗

米国ハワイ州 2店舗

フィリピン39店舗

タイ 120店舗 インドネシア 42店舗

海外のローソンブランド店舗数 2,210店舗

ノンフロン冷凍・冷蔵システム



2020年度末 までの目標

1店舗当たりの電気使用量

2010年度対比 20%削減

約3,400店舗に導入



「MACHI café」の アイスコーヒーのカップを 紙製に切り替える実験

プラスチック削減に取り組む

「ひとり親家庭支援奨学金制度」を継続



400名に奨学金を支給



緑化貢献事業



食品リサイクル



ケータイバッグ運動

募金活動

清掃活動

これからも社会・環境の課題解決に向けた取り組みを推進

設備投資の状況

設備投資総額

789億98百万円

店舗設備投資

535億 7百万円

情報システムの拡充

181億95百万円

連結貸借対照表

連結貸借対照表 (資産の部)

流動資産	6,239億98百万円 (3,921億38百万円増加)
固定資産	7,184億91百万円 (500億95百万円増加)
資産合計	13,424億90百万円 (4,422億34百万円増加)

ローソン銀行ATM充填用の 現預金の増加など

連結貸借対照表 (負債の部)

流動負債	5,985億22百万円 (2,193億円増加)				
固定負債	4,619億85百万円 (2,223億98百万円増加)				
負債合計	10,605億 7百万円 (4,416億98百万円増加)				

銀行開業に伴う必要資金の借入など

連結貸借対照表 (純資産の部)

資本金	585億 6百万円
資本剰余金	469億84百万円 (2億95百万円増加)
利益剰余金	1,661億87百万円 (63百万円増加)
自己株式	▲10億28百万円 (12百万円増加)
純資産合計	2,819億82百万円 (5億35百万円増加)

その他有価証券評価差額金の増加など

連結損益計算書

7,006億47百万円 営業総収入 (433億23百万円増加) 607億81百万円 営業利益 (50億39百万円減少) 577億円 経常利益 (74億41百万円減少) 親会社株主に帰属する 255億85百万円 当期 純利益 (12億43百万円減少)

対処すべき課題

対処すべき課題

- ① お客さまの生活支援度の向上
- ② 商品力の更なる強化
- ③ 人手不足への対応
- 4 将来の成長分野へのチャレンジ
- ⑤ SDGsへの取り組み
- ⑥ 内部統制の充実と事業リスクへの対応

2019年度の取り組み

企業理念とステークホルダー

「私たちは、みんなと暮らすマチを幸せにします。」



ローソンを取り巻く環境の変化

社会環境変化に対応できる強いチェーンになる為、最大のパートナーである加盟店の支援を更に強化



ローソンの目指す姿

全てのお客さまレコメンドNo.1

3つの約束① 圧倒的な 美味しさ 3つの約束② 人への 優しさ

3つの約束③ 地球(マチ)への 優しさ

加盟店の"働きがい"

店舗改革:人手不足対策·加盟店支援

オペレーションの時間がかかっているレジ業務を中心に店舗業務省力化

セルフレジ



3月末より 順次対応

<u>セルフモード</u> キャッシュレス 決済のみ

スマホレジ



2019年度 1,000店へ拡大

セルフFF什器



今後、新店より 展開予定 (_{実験中})

加盟店とのダイレクトコミュニケーション

長年にわたり、複数のコミュニケーションの場を設け、加盟店と本部の意見交換や加盟店同士のつながり を積極的に推奨

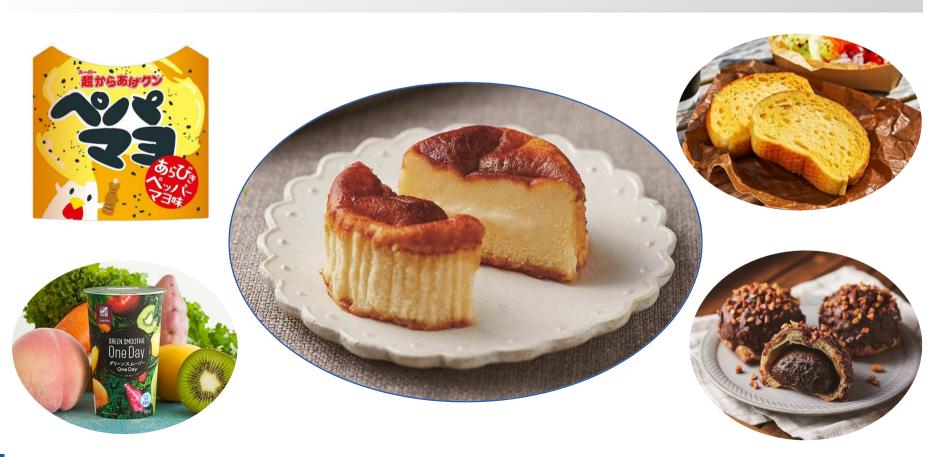
- ・オーナー福祉会 理事会 <年2回>
- ・オーナー女子部 <年2回>
- MO総会 <年1回> MO理事会 <年2回> ※MO=マネジメントオーナー
- ・エリア会 <月1回/2018年は各地で計3,045回開催>
- ・ローソンセミナー <年2回>
- ·社長直行便〈随時〉
- ・2019年4月新設:ローソン加盟店アドバイザリー委員会





商品力の強化

お客さまに支持される ローソンならではの商品を継続的に展開



ローソングループ。全体像







海外事業

デジタル技術

東南アジア

UNITED CINEMAS

ENTERTAINMENT

HMV&BOOKS

- online -

2019年度利益計画と配当金

		2018年度	2019年度		
		実績	計画	前年差/比	
連結営業利益	(億円)	608	608	+0	±0.0%
連結当期純利益	(億円)	255	180	▲ 75	▲ 29.6%
年間配当総額	(億円)	255	150	105	_
連結配当性向	(%)	99.7	83.4	▲ 16.3	_

- ・営業利益は前年並みを計画
- ・加盟店利益の改善を図るため、収益性が低い店舗の整理、置き 換えを進めるため、当期純利益は減益を見込む。
- ・2019年度配当金は減配も、連結配当性向は83%と高水準